

市貝町「高齢者総合保健福祉計画」 自己点検表（PDCAサイクル表）

基本理念 「住み慣れた地域で 高齢者が生きがいを持ちながら 安心して暮らせるまちづくり」 1 （基本目標）元気でいきいき暮らせるように支援します

施策展開・具体的施策 (P)	計画実施状況 (D)	計画達成見込 (C) H30	計画達成評価 (C) H31	計画達成評価 (C) H32	評価の理由とコメント（改善の方法など）
1) 健康づくりの推進					
①訪問指導 寝たきり高齢者、認知症高齢者、生活習慣病等で指導が必要な方への訪問指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師による訪問指導実施 H30：実人数 103 名、延べ人数 463 人 ・保健師研修等（介護予防・認知症）受講 H30：17 回 	3 実践・推進できている			引き続き現事業を推進していく。
②健康教育 疾病の予防、生活習慣の改善を図るために町保健福祉センターや各自治公民館での教育実施	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくり体験（28.10現在 4団体） （体操）（30.12現在 18 団体） H30：892 回 	3 実践・推進できている			現時点で、活動が 18 団体となっているが、今後さらに活動団体数を増やしていきたい。
③健康相談 検診結果の事後相談や糖尿病相談等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ①重点健康相談 <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断後の事後指導・糖尿病相談 H30:12回 120 人 ②総合健康相談 <ul style="list-style-type: none"> ・サシバのさっちゃん広場 H30:30回 166 人 	3 実践・推進できている			引き続き現事業を推進していく。
④健康診査 特定健康診査やがん検診、歯周病疾患検診、骨粗しょう症の受診率が向上するよう整備	<ul style="list-style-type: none"> ①特定健康診査・がん検診 H30 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査（対象者 2,202 人、受診者 997 人、受診率 45.3%） ・胃がん検診（対象者 3,564 人、受診者 1,026 人、受診率 28.7%） ・子宮がん検診（対象者 2,542 人、受診者 972 人、受診率 38.2%） ・肺がん検診（対象者 3,564 人、受診者 1,712 人、受診率 48.0%） 	3 実践・推進できている			引き続き現事業を推進していく。

	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診（対象者 2,352 人、受診者 1,204 人、受診率 51.2%） ・大腸がん検診（対象者 3,564 人、受診者 1,673 人、受診率 46.9%） ・前立腺がん受診（対象者 1,351 人、受診者 571 人、42.2%） ②歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診 <ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患検診 対象者 1,569 人、受診率 3.3% ・骨粗しょう症検診 対象者 3,140 人、受診率 14.0% 				
2) 一般介護予防事業（新しい総合事業）	計画実施状況（D）	計画達成見込（C）H30	計画達成評価（C）H31	計画達成評価（C）H32	評価の理由とコメント（改善の方法など）
①介護予防把握事業 閉じこもりや何らかの支援を必要とする人の把握	生活支援コーディネーターを配置し、80歳以上でADL（日常生活自立度）低下者を対象にアウトリーチ H30.12現在 ・対象者 211 名うち訪問 177 名	3 実践・推進できている			今年度、残りの訪問予定者の調査と、課題がある対象者への解決に向けた、関係機関との連携強化を図っていく。
②介護予防普及啓発事業 生活習慣病や認知症予防の知識の普及啓発パンフレット等の作成配布	・市貝温泉での介護予防 PR 事業パンフレット配布 ・町民祭での介護予防・認知症予防パンフレット配布	3 実践・推進できている			引き続き現事業を推進しつつ、普及啓発の場のさらなる創出をおこなっていく。
③地域介護予防活動支援事業 地域住民主体による健康づくり・介護予防活動を目指したボランティアやグループの養成支援	・元気づくり体験（体操） 18 団体のうち住民主体事業は 16 団体 ・はつらつ教室（65 歳以上・運動教室） ・にこにこ教室（65 歳以上・運動教室） ・元気いきいきサポーター（運動教室ボランティア）11 名 ・はつらつクラブ（65 歳以上高齢者対象） 旧小貝中央小学校、保健福祉センター、赤羽南公民館で実施 ・お元気会（介護予防に興味がある方） 保健福祉センターで月 2 回開催。体操・書道等。	3 実践・推進できている			今後も現事業を推進し、住民のニーズを把握しながら、新たな団体等の増を目指す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・続谷アクティブシニアの会（続谷シニアの会） 介護施設にて、月2回、体操・講話等を実施。 ・文谷さくらの会（さくら会会員） 講話・脳トレなどを保健福祉センターで月1回実施。 				
④一般介護予防事業評価事業 介護保険事業計画の目標値の検証	目標値の検証を見える化システム等を使い検証し、介護予防事業の事業評価を行っている。	3 実践・推進できている			引き続き推進していく。
⑤地域リハビリテーション活動支援事業 地域での介護予防の取り組み強化のために、介護サービス事業所や地域包括支援センターにおけるリハビリテーション専門職との連携推進	介護予防教室にてリハビリテーション専門職を導入し、ADL（日常生活自立度）が低い人への指導をお願いしている。	2 実践・推進できているが改善が必要			リハビリテーション専門職とさらに連携を深め、介護予防に取り組んでいきたい。
3) 長寿者祝金贈呈事業					
①長寿者祝金贈呈事業 80歳90歳100歳を迎えられた方に対する祝金の贈呈	80歳、90歳の方は誕生月の翌月に贈呈。100歳は誕生日以降に町長から贈呈。 H30.12 現在 祝金・80歳 10,000円 H30:59人 90歳 30,000円 H30:44人 100歳 100,000円 H30: 1人	3 実践・推進できている			次年度以降は、100歳を超えた方に対しても事業拡充を行いたい。
4) 高齢者用手押し車購入費助成事業					
①高齢者用手押し車購入費助成事業 足腰が弱くなっても歩行自立、外出を促すために購入費の一部助成	<ul style="list-style-type: none"> ・1件につき5,000円補助。 H30: 8件 	3 実践・推進できている			引き続き事業を推進していく。
5) 市貝温泉健康保養センター利用促進					
①市貝温泉健康保養センター利用促進	利用に際し、デマンドタクシーを往復利用する場合、復路分（300円）を補助する。	3 実践・推進できている			引き続き現事業を推進していく。

高齢者の健康維持増進のために1ヶ月8回を限度に無料利用でき、更にデマンドタクシーを利用した場合に復路の交通費を助成する	H30.12現在：1,188枚補助（月平均132枚）				
---	----------------------------	--	--	--	--

2 (基本目標) 人とのつながり、生きがいのある暮らしができるように支援します

施策展開・具体的施策 (P)	計画実施状況 (D)	計画達成見込 (C) H30	計画達成評価 (C) H31	計画達成評価 (C) H32	評価の理由とコメント (改善の方法など)
1) ふれあいの場づくりの推進					
①ふれあいの場づくりの推進 高齢者の閉じこもり予防や世代間交流の場として保健福祉センターを位置づけしている。	・生きがい活動支援事業 (いきいきサロン) 年 17 回予定 H30.12現在: 220人 (のべ) 参加 登録者: 24 名	2 実践・推進できている が改善が必要			引き続き現事業を実施しつつ、ニーズの把握を行いながら、新たなサービス提供の場の創出に努める。
2) 社会参加の支援					
①シニアクラブの活性化 魅力あるシニアクラブづくりを促進し、地域の連帯感を強め、今後提供していく総合事業での担い手になれるよう支援していく。	社会奉仕活動、教養講座、スポーツ活動の実施。更に奉仕団活動として、小中学校への労力奉仕へも協力いただいている。 H30.12現在: 19クラブ 会委員数: 610 名	2 実践・推進できている が改善が必要			引き続き現事業を実施しつつ、クラブ数の増及び会員数の増に努める。
②就労の促進 シルバー人材センターを活用した就業を提供し、機能強化を図りながら総合事業での担い手になれるよう支援していく	・シルバー人材センター会員募集 (町広報 H30.12 現在 2 回掲載) ・シルバー人材センター事務局との連携 (適宜職員同士で協議の場を設けている)	2 実践・推進できている が改善が必要			・シルバー人材センターと連携を深め、会員の増員を図り、また、新たな雇用の場の創出に努める。
3) 生きがいづくりの推進					
①スポーツ活動の振興 高齢者の健康や体力保持のためにスポーツ大会を振興していく	シニアアクティブクラブ (老人クラブ連合会) 主催による、シルバースポーツ大会、グラウンドゴルフ大会、ターゲットバードゴルフ大会等の開催。	3 実践・推進できている			引き続き現事業の推進に努める。
②学習機会の提供 高齢者の幅広い学習意欲に 応えるために高齢者教室等	英会話教室、パソコン教室、俳句教室などおよそ 30 種類の教室を開催している。	3 実践・推進できている			引き続き現事業の推進に努める。

の内容の充実、高齢者の学 習活動を推進していく					
----------------------------	--	--	--	--	--

3 (基本目標) 住み慣れた地域で暮らし続けられるように生活支援体制を整備します

施策展開・具体的施策 (P)	計画実施状況 (D)	計画達成評価 (C) H30	計画達成評価 (C) H31	計画達成見込み (C) H32	評価の理由とコメント (改善の方法など)
1) 地域包括ケアの推進					
①地域包括ケアの推進 「介護」「医療」「予防」「住まい」等の支援・サービスが一体的に提供される「地域包括ケア」を推進するために、地域包括支援センターが中核となり多職種協働のネットワークづくり取り組み、個別事例への支援検討する「地域ケア会議」開催する。	個別ケースを提案し「地域ケア個別会議」を2ヶ月に1回開催している。 H31.3に「地域ケア会議」として、様々な専門職種を交えた会議を予定している。 ・地域個別会議 H30.12現在：4回開催 ・地域ケア会議 H30：1回開催予定	2 実践・推進できているが改善が必要			今後、多職種で会議を行う「地域ケア会議」の開催回数の増を目指す。
2) 介護予防・日常生活支援総合事業 (新しい総合事業) の推進					
①介護予防・生活支援サービス事業 平成29年度から開始した「新しい総合事業」の整備。 現行の訪問型サービス、通所型サービスは維持しつつ、基準を緩和したサービスの全面移行できるように整備する。 また、生活支援サービスとしての配食サービスは見守り安否確認も兼ねていることから、サービス利用希望	新しい総合事業については、訪問サービスA型を1事業所で、通所型サービスA型を1事業所で試行している。引き続き新しいサービスの移行に向けて順次整備を進める。 配食サービスは週2回提供しており、58人利用している。 配食サービスについては、引き続き希望者を掘り起こすとともに、28年度から実施する「高齢者ボランティアポイント制度」により、調理・配達ボランティアを確保する。	2 実践・推進できているが改善が必要			引き続き、新しい総合事業については、ニーズを調査しながら、必要なサービスの創出を行っていく。 配食サービスについては、ニーズを把握しながら、サービス提供の方法を検討していく。

者を掘り起こしていく。					
<p>②一般介護予防事業 65歳以上の高齢者を対象とした、予防事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（支援を必要とする人の把握） ・介護予防普及啓発事業（認知症・生活習慣病等や健康体操などについての普及啓発） ・地域介護予防活動支援事業（地域住民による主体的な健康づくり活動の育成を目指し、ボランティアリーダーの養成） ・一般介護予防事業評価事業（介護保険事業計画における目標値の達成状況の検証） ・地域リハビリテーション活動支援事業（地域における介護予防の取り組み強化のためにリハビリテーション専門職との連携） 	<p>(再掲)</p>				
<p>3) 地域包括支援センターの機能強化</p>					
<p>①包括的支援事業 ・総合相談支援事業 （地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援事業 地域包括支援センター総合相談 403件 総合相談支援センター総合相談 24名 ・権利擁護事業 相談件数 29件 	<p>2 実践・推進できているが改善が必要</p>			<p>今後、高齢化が進むにつれて、相談件数等の増加が予想されるため、職員のさらなる増も含めた、地域包括支援センターの機能強化、総合相談支援センターとの連携強化を行っていく。</p>

<p> 続していくための支援) ・権利擁護事業（困難な状況にある高齢者のための支援） ・包括的・継続的ケアマネジメント事業（地域における連携・協同の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援） ・第1号介護予防支援事業（第1号被保険者のうち基本チェックリスト該当者に対して、介護予防及び日常生活支援を目的として、心身の状況、置かれている環境等に応じて、適切なサービスが選択、利用できるように支援を行います。） </p>	<p> ・包括的・継続的ケアマネジメント事業 相談件数 598件 ・第1号介護予防支援事業 介護予防マネジメント 157件 チェックリスト該当者 17名 ・地域包括支援センター機能強化 H30 社会福祉士 1名増 </p>				
<p> ②多職種協働による地域包括ネットワークの構築 「地域ケア会議」の運営を強化して、連携体制の構築に努める </p>	<p> ・地域個別ケア会議 H30.12 現在 4回開催 ・地域ケア会議 H31.3 開催予定 </p>	<p>2 実践・推進できているが改善が必要</p>			<p>多職種があつまり開催する「地域ケア会議」の開催回数増を目指し、連携強化に努める。</p>
<p>4) 在宅医療・介護連携の推進</p>					
<p> ①在宅医療・介護連携の推進 退院の際に円滑に在宅サービスに繋げ、自宅での看取りにも地域包括支 </p>	<p> ・芳賀郡管内（1市4町）で在宅医療・介護連携推進事業を芳賀郡医師会に委託し、H30年度より進めている。現在、住民への普及啓発を目的とした住民公開講座の開催や専門職の知識向上を目的と </p>	<p>2 実践・推進できているが改善が必要</p>			<p>H30年度から始まった事業であるため、連携強化・住民への普及啓発をさらに推進していく。</p>

援センターと訪問看護ステーションや医師、薬局等との連携体制の構築。	した専門職向けの研修、また、入退院時の連携をスムーズに進めるための共通シートの作成や在宅緊急時に対応するための連携体制の構築などを専門部会を設けて進めている。				
5) 認知症施策の推進					
① 認知症高齢者の早期発見	認知症初期集中支援チーム H30.12 現在 活動対象者 2人	3 実践・推進できている			認知症初期集中支援チーム及び認知症地域推進員を中心とした連携体制を強化し、早期発見に繋げていく。
②認知症高齢者徘徊検索システムの充実	実施できていない。	1. 実践・推進できなかった			徘徊した際には、町防災行政無線のメール配信システムを活用していけるよう調整していく。
② 認知症ケアパスの普及	認知症ケアパス※はH28年度に作成済。 ※認知症の人とその家族が、地域の中で本来の生活を営むために、認知症の人と家族及び地域・医療・介護の人々が目標を共有し、それを達成するための連携の仕組みです。ケアパス概念図を作成しています。	2 実践・推進できているが改善が必要			ケアパスの内容を随時更新していき、普及啓発に努める。
③ 認知症初期集中支援チームの設置	認知症初期集中支援チーム H30.12 現在 活動対象者 2人	3 実践・推進できている			今後もチーム活動を推進していくため、チーム員を増やしていく。
④ 認知症地域推進員の配置	・現在2名配置。 図書館で認知症特設コーナーを設け、普及啓発活動を行った。	2 実践・推進できているが改善が必要			今後、さらに推進員を増やし、様々な事業を展開し、支援ネットワークづくり等を行っていく。
⑤ 認知症サポーターの養成	・認知症サポーター養成講座 H30.12 現在 282人 総数 539人	3 実践・推進できている			今年度当初は、県内で1番サポーター数が少ない自治体となってしまったので、サポーター確保を継続して行っていく。
⑦認知症高齢者見守り事業（キャラバンメイト啓発活動事業）	・キャラバンメイト養成講座 今年度受講者数 1名 全キャラバンメイト数 4名	2 実践・推進できているが改善が必要			サポーター養成講座開催や認知症の方の早期発見のシステム構築には、キャラバンメイト（講師）数が足りないため、今後、さらに増員を目指していく。

6) 生活支援サービスの体制整備					
①生活支援サービスの体制整備 地域包括ケアにおける生活支援サービスは地域住民の主体的な助け合いも加えて役割分担することが期待されている。	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターを配置し、ニーズ把握のために個別訪問を中心に行った。現在のところ、協議体については、設置できていない。 今年度中に、商工会を通して地域商店へ協力の働きかけを行っていく。 	2 実践・推進できているが改善が必要			今後、ニーズ把握の結果を踏まえ、サービスの創出や支援ネットワーク作りを行っていく。
7) その他の地域支援事業（任意事業）の推進					
①家族介護支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 家族介護教室 ねたきり高齢者等介護用品給付事業 介護相談の充実 その他事業 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族介護教室」は未実施。 認知症家族会「いちまる会」は、毎月開催。 介護用品（おむつ）支給事業は、実施済。 	2 実践・推進できているが改善が必要			家族介護教室の開催ができるように、施策等を検討していきたい。
8) 権利擁護と尊厳の確保					
①虐待への対応 高齢者への虐待事例を把握した場合は、法に基づき関係機関と連携し積極的な対応を行い、場合によっては、老人福祉施設等への措置入所を行う	<ul style="list-style-type: none"> 虐待通報による対応（コア会議※を開いた回数） H30：4回 措置入所 なし ※虐待の有無、対応を協議する会議 	2 実践・推進できているが改善が必要			虐待通報時に早急な対応ができるよう、職員の研修等を積極的に行っていきたい。
②消費者被害・詐欺被害の防止 訪問販売等による消費者被害の未然防止と、民生委員等との情報交換	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座などの場で、啓発リーフレットの配布。 	2 実践・推進できているが改善が必要			被害防止のためにさらなる普及啓発活動を推進していく。
③成年後見制度の活用 高齢者の判断能力の状況を把握し、円滑に	<ul style="list-style-type: none"> 町民祭などで普及啓発のリーフレットを配布している。 	2 実践・推進できているが改善が必要			同制度については、親族による後見人から、弁護士等による後見人が主流になりつつあるが、こうした資格保有者が町内には少数なことから、社会福祉協議会に

<p>制度活用ができるよう普及啓発していく。 また、市民後見人の養成を支援する。</p>	<p>また、利用の相談があった場合には、社会福祉士などの専門職員が傾聴し、リーガルサポートなどの適正機関への案内を行っている。</p>				<p>よる法人後見について実施できるよう協働で検討していく。また、その中で、市民後見人の養成についても検討していく。</p>
<p>④「あすてらす（栃木権利擁護センター）」の活用 県社会福祉協議会が主体となり町社協で実施。判断能力が不十分なために自己決定が行う事が困難な方に対し、権利侵害相談や日常的金銭管理サービスを行う。</p>	<p>契約利用者10名</p>	<p>3 実践・推進できている</p>			<p>今後、高齢化が進むにつれて、契約者の増加が見込まれるので、適切に対応できるよう連携強化を図ってきたい。</p>

4 (基本目標) 必要な介護が受けられるように介護保険サービスを充実します

施策展開・具体的施策 (P)	計画実施状況 (D)	計画達成評価 (C) H30	計画達成評価 (C) H31	計画達成見込み (C) H32	評価の理由とコメント (改善の方法など)
1) 介護保険給付対象サービスの整備					
①居宅サービス	〇4月～10月分 ・訪問介護 介護給付：人数262人 給付費：13,342千円 ・訪問入浴介護 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数29人 給付費：2,343千円 ・訪問看護 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数66人 給付費：2,781千円 ・訪問リハビリテーション 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数10人 給付費：452千円 ・居宅療養管理指導 予防給付：人数3人 給付費：27千円 介護給付：人数58人 給付費：411千円 ・通所介護 介護給付：人数1,320人 給付費：94,012千円 ・通所リハビリテーション 予防給付：人数8人 給付費：184千円 介護給付：人数13人 給付費：544千円 ・短期入所生活介護 予防給付：人数19人 給付費：709千円 介護給付：人数414人 給付費：32,793千円 ・短期入所療養介護 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数0人 給付費：0円	3 実践・推進できている			計画値と実績値を比較しながら、地域特性を把握し、第8期計画に役立てる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設入居者生活介護 予防給付：人数7人 給付費：385千円 介護給付：人数62人 給付費：11,482千円 ・福祉用具貸与 予防給付：人数226人 給付費：1,693千円 介護給付：人数950人 給付費：13,762千円 ・福祉用具購入 予防給付：人数3人 給付費：74千円 介護給付：人数18人 給付費：372千円 				
②地域密着型サービス	<p>〇4月～10月分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症対応型通所介護 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数27人 給付費：2,863千円 ・認知症対応型共同生活介護 予防給付：人数3人 給付費：605千円 介護給付：人数112人 給付費：26,776千円 ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 予防給付：人数0人 給付費：0円 介護給付：人数145人 給付費：37,081千円 	3 実践・推進できている			計画値と実績値を比較しながら、地域特性を把握し、第8期計画に役立てる。
③住宅改修	<p>〇4月～10月分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修 予防給付：人数6人 給付費：614千円 介護給付：人数14人 給付費：1,397千円 	3 実践・推進できている			計画値と実績値を比較しながら、地域特性を把握し、第8期計画に役立てる。
④居宅介護支援	<p>〇4月～10月分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援 予防給付：人数255人 給付費：1,124千円 介護給付：人数1,625人 給付費：21,049千円 	3 実践・推進できている			計画値と実績値を比較しながら、地域特性を把握し、第8期計画に役立てる。
⑤介護保険施設サービス	<p>〇4月～10月分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設 介護給付：人数339人 給付費：81,270千円 ・介護老人保健施設 介護給付：人数235人 給付費：59,902千円 	3 実践・推進できている			計画値と実績値を比較しながら、地域特性を把握し、第8期計画に役立てる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・介護療養型医療施設 介護給付：人数61人 給付費：20,953千円				
2) その他のサービス					
①市町村特別給付	介護保険事業の中で、町独自にサービスが実施できるもの。	1. 実践・推進できなかった			独自サービスを導入すると、介護保険料が高額になるので、実施については慎重を要す。
②保健福祉事業	介護保険事業の中で、町独自にサービスが実施できるもの。	1. 実践・推進できなかった			独自サービスを導入すると、介護保険料が高額になるので、実施については慎重を要す。
3) 介護保険事業費の見込み					
①介護保険総事業費の推計	厚労省が提供する見える化システムにより推計している。	3 実践・推進できている			実績を参考にしながら、第8期の推計に役立ててく。
②第1号被保険者の保険料の基準額(月額)等の推計	厚労省が提供する見える化システムにより推計している。	3 実践・推進できている			実績を参考にしながら、第8期の推計に役立ててく。
4) 介護保険苦情解決システムの充実					
①介護保険苦情解決システムの充実	町、地域包括支援センター、県、国保連合会が対応している。	3 実践・推進できている			引き続き、通報があり次第、制度に基づき対応していく。

5 (基本目標) 安心して住み続けられる住まいと環境を整備します

施策展開・具体的施策 (P)	計画実施状況 (D)	計画達成評価 (C) H30	計画達成評価 (C) H31	計画達成見込み (C) H32	評価の理由とコメント (改善の方など)
1) 生活支援ニーズに応じた住宅の確保					
①生活支援ニーズに応じた住宅の確保	<p>国勢調査では、9割が持ち家だった。</p> <p>サービス付き高齢者向け住宅も整備されつつあるが、身体が低下しても引き続き自宅で過ごせるよう、住宅改修等のサービスを提供していく。</p>	2 実践・推進できているが改善が必要			状況やニーズを把握し、柔軟に対応していく。
2) 生活支援型施設の整備					
①特定施設	<p>有料老人ホーム、経費老人ホーム等については、町内に施設無し。法人等から整備について相談があれば対応していく。</p>	1. 実践・推進できなかった			今後も入所希望者の把握に努め広域圏で利用促進する。
②サービス付き高齢者向け賃貸住宅	<p>民間資本による住宅(20部屋)が28年4月開設。</p> <p>介護付き住宅は29年12月に開設(30部屋)。</p> <p>以上2施設が整備されている。</p>	3 実践・推進できている			ニーズを把握しながら、適宜対応していく。
3) 居住環境の整備					
①バリアフリーのまちづくりの推進	<p>高齢者の方が安全かつ快適な生活が送れるよう利用しやすい施設整備を目指す。役場庁舎においては、おもいやり駐車スペース等を設け、玄関はスロープや点字ブロックにて誘導している。</p> <p>公共施設(道路含む)の改修については、多額の費用がかかるが、快適な生活が送れるよう調査検討していく。</p>	2 実践・推進できているが改善が必要			ニーズを把握し、推進していく。

<p>②移動サービス</p>	<p>・70歳以上ひとり暮らしの方へは福祉タクシー 申請者 H30.12現在41人 ・リフト付きタクシー（3,000円） 申請者 H30.12現在：19人 ・デマンドタクシー H30.12まで利用者数（60歳以上） 延人数 7,894人</p>	<p>2 実践・推進できている が改善が必要</p>			<p>引き続き現事業を推進する。</p>
<p>4) 災害時の支援対策の推進</p>					
<p>①災害時の支援対策の推進</p> <p>災害時には避難行動要支援者対策計画に基づき、支援者の安否確認や福祉避難所設置等の対応を行う。</p>	<p>「災害時における福祉避難所の開設等に関する協定」を社会福祉法人と平成27年3月に締結済。</p> <p>計画に基づく支援者名簿については、作成済みであり、毎年度1回の更新をしている。</p>	<p>2 実践・推進できている が改善が必要</p>			<p>要支援者台帳の更新については、年1回の更新では、不十分であると考えているところだが、更新の際にかかる事務量も数ヶ月をようする。ゆえに、住基情報と連動するようなシステム導入も視野に入れ、推進していく。</p>